令和５年度も、校長室から日頃の「雑感」をお届けいたします。昨年度は沢山の生徒の皆さんに校長室に来ていただきお話を伺うことができました。今年度も、感想や談話等の内容を掲載させていただく予定ですので、ご笑覧いただけましたら幸いです。

One for all, All for one.　№61

R5. 8. 1　「吹奏楽部、堂々の銀賞」

第６８回北海道吹奏楽コンクール地区予選「銀賞」受賞の報告に、部長を務める３年生長谷川 歩太君が校長室を訪れてくれました。

本校の吹奏楽部は小規模編成ですが、各種大会参加をはじめ、学校独自のコンサート、あらゆる行事への協力、野球の全校応援、地域の依頼に応える演奏会など、１年を通して休みなく活躍しています。そうした尽力もあって、在校生や保護者はもちろん、地域の多くの方々から身近で親しみやすい部として愛されています。

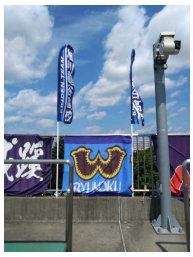
長谷川君は小学校から始めたトロンボーン奏者として、部をまとめてきました。「この部の特長は、自分たちで楽譜をアレンジし、独自の『音』を創りあげていくことです。人数が少ないことを利点に、自分たちにしかできない『表現』をすることには充実感があります」と、部の魅力を語ってくれました。

「３年生はまもなく引退となり、中でも金管楽器のパートが少なくなりますが、後輩たちには逆境を乗り越え、これまで以上の活躍を期待しています。自分も吹奏楽を通してメンタルや体力面で随分と成長させてもらいました」と、実り多い３年間であったことがとてもよく伝わってきました。

３年生の皆さんは、様々な活動を通して実に多くの経験を積まれてきたことでしょう。その貴重な経験を是非これからの人生に役立ててください。聴く人を幸せな気持ちにし、多くの人に勇気を与えてこられたことに心より敬意を表します。

One for all, All for one.　№62

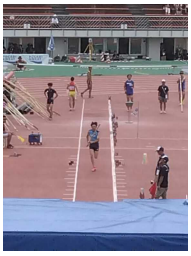
R5. 8. 2　「インターハイ（全国高等学校総合体育大会）」



インターハイが３６年ぶりに北海道で開催され、２８競技による熱戦が各地で繰り広げられています。

陸上競技には多くの生徒がエントリーしていますので、早速応援に行ってきました。試合会場の厚別競技場には道内外から多くの応援団が集まり、熱い声援を送っていました。

本校選手の初日の出場種目は「男子棒高跳び予選」、「女子 1500m 予選」、「男子 4 × 100m リレー」です。炎天下の中、選手はこれまでの練習の成果を発揮するために精一杯のパフォーマンスで望んだことと思います。もちろん全国選手と対等に渡り合うために厳しい練習を積んできたのですから、選手・関係者はタイムや勝敗に拘ることにはなるでしょう。



それでも、私のような素人の目には必死に頑張っている姿そのものが眩く見えました。陸上競技は６日までの長丁場です。明日からの種目にも大いに期待しています。

また、柔道の全国大会も間近に迫ってきました。７，８日には北海きたえーるで団体戦が始まります。頂点を目指し、悔いの残らないよう全てを出し切ってきてください。

One for all, All for one.　№63

R5. 8.11　「地域との交流」

教育活動は地域の皆様方のご理解やご支援がなければ成り立ちません。

昨年夏の校舎移転から、地域の皆様方にはほんとうに快く迎え入れていただき、様々な場面で多大なご支援をいただておりますことに感謝の念でいっぱいです。

私たちも地域に何か貢献できないかと、周辺のごみ拾いや催しに少しずつ参加させていただくようになりました。

この夏休みは、吹奏楽部、合唱部、書道部が各地域のふれあい活動に参加させていただきました。普段練習している演奏やパフォーマンスを間近で鑑賞していただき、少しでも多くの皆様に楽しんでいただけたら、そんな嬉しいことはありません。

今後も地域に根ざす学校として、旭川龍谷を温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

One for all, All for one.　№64

R5. 8.20　「インターアクト部」

インターアクト部は、主に高齢者の安否確認、障がいのある人との交流、街頭募金、ゴミ拾いなどのボランティア活動を年間を通して行っています。

今回は、東部町づくりセンター主催の「防災セミナー」に参加させていただきました。

消防団の活動や消火栓の使用方法について理解を深めたり、地域防災等のあり方について地域の皆さんと共に考えたりしました。また、消火栓を使用した実演や、ポンプ車・タンク車を間近に見れたことも貴重な体験となったようです。

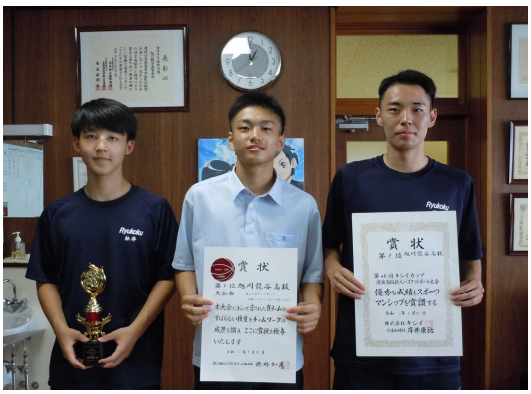
地域防災は、そこに住む人々皆が一緒に考え、取り組んでいかなかればならない課題です。その意味において、今回の経験は生徒にとって大変意義のあるものであったと思います。

代表を務める３年生の 岩井川 隼晟君の、「高齢化が進む中、若い世代が積極的に社会活動に参加し、異世代とのコミュニケーションを図ることで、豊かな社会が実現できると思います」との言葉に、明るい未来が感じられました。

One for all, All for one.　№65

R5. 8.21　「バスケ部が始動」

バスケットボール部が、男女ともに新チームとして始動しました。最初に臨んだ「キシイカップ」では、男子が見事優勝、女子は接戦のすえ惜しくも３位となりました。



男子キャプテンの２年生 池崎　豪君は「新チームは個性豊かな選手が多いので、個々の良い面を引き出しつつも、チームワークを大切にしていきたいです」と抱負を語ってくれました。

副キャプテンの２年生 菊池 琉毅君は、バスケを小１から始めた筋金入り。「途中点差があっても、流れ次第で最後までどうなるかわからない所に試合の醍醐味があります」とバスケットボールの魅力を教えてくれました。

優秀選手賞に輝いた２年生 松井　葵君は、ゴールポスト下への鋭い切り込みと早いパスワークが持ち味。「自分が選ばれるとは予期していなかったので驚きました。異なる個性の歯車を合致させることで強いチームを目指します」と頼もしい言葉が返ってきました。

一方女子は現３年生の牽引もあり、今や支部優勝を狙えるところまで力をつけてきました。今回は準決勝で僅差での敗退となりましたが、次こそリベンジを果たして欲しいです。

キャプテンの２年生 森　ゆず葉さんは「ルーズボールを必死に追いかけるなど、泥臭くても一つ一つのプレーに気持ちが表れるようなチーム作りをしたいです」と新たな門出に意欲を燃やします。

また、副キャプテンの２年生 正木　遥さんは、「キャプテンと意思疎通を図りながらプレー内外で意見交換ができるよう、部員同士のコミュニーケーションを大切にしていきたいです」と、チームを側面からも支えます。

同じく副キャプテンの２年生 大川 莉琉さんは、国体選抜選手として全道の代表チームと対戦してきました。「強いチームは、個々のスピードやスキルが格段に違います。課題を意識した練習を心がけ、常に部員に寄り添いながらチームを引っ張って行きたいです」と、強いチームにも適応できるレベルアップを図ります。

優秀選手賞に輝いた２年生 大内 こころさんはスピードが持ち味のフォワード。「受賞するとは思っていなかったので素直に嬉しいです。ドリブルからの素早いカットン、そしてシュートのまでの精度をより高めていけるよう頑張ります」と、謙虚な中にも熱い思いが伝わってきます。今後の男女バスケットの活躍から目が離せません。

One for all, All for one.　№66

R5. 8.23　「進学相談会」

民間企業が主催する「進学説明会」に、特進の１・２年生約１４０名が参加してきました。この催しはこれから進路目標を固めていく学年を対象に、上級学校の内容をより具体的に理解してもらうことを目的としたイベントです。

会場となったアートホテルには、道内外から３０校ほどの国公立大・私立大と６０校ほどの専門学校がブースを設け、集結した旭川市内及び近隣の高校生に向けて学校説明を行っていました。

上級学校と一言で括っても、その学部や学科は多岐にわたり、類似の名称でも研究内容や取得可能な資格等は様々です。

学習内容や身につけられる資質等をしっかりと理解したうえで、自分の進路に合致した上級学校のイメージを持つことが大切になります。

本校ではこのような進路ガイダンスの機会を計画的かつ系統的に実施し、日頃の学習意欲の啓発につなげています。

One for all, All for one.　No.67

R5. 8.25　「ラグビー、支部大会優勝」

ラグビーフットボール支部予選会が、今月２３日から３日間にわたり東光スポーツ運動公園にて開催されました。猛暑の中での大会となりましたが、開始時間を涼しい時間帯にずらしたり、試合時間を短縮したり、ウォーターブレイクを多めにとったりと、大会運営関係者の皆様のご配慮やご尽力に改めて感謝申し上げます。

ラグビー人口が年々減少しているのが懸念されますが、今年はワールドカップの開催年でもあり、少しでも多くの子どもたちにラグビーの楽しさを知ってもらえればと思います。

本校ラグビー部も花園を目指し日々練習に励んでいます。ＯＢの方々の熱心なご指導や保護者の皆様の手厚いサポートに、選手たちはいつも元気づけられています。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

One for all, All for one.　No.68

R5. 8.30　「高文連美術展・研究大会」

２９日から３日間にわたり、高文連美術展・研究大会が旭川文化会館大ホールを会場に開催されています。上川管内の高校美術部の皆さんの作品が勢ぞろいし、その見事な出来栄えに圧倒されてきました。

本校美術部の皆さんの作品も個性溢れる力作ばかりで、来訪者を楽しませてくれます。昨今は部員数も増え、楽しい雰囲気の中で制作している様子が伝わってきます。

R5. 8.30　「分野別ガイダンス」

２年生を対象に、道内大学から専門講師をお招きし「進路ガイダンス」を実施しました。

進路目標を明確する上で、多岐にわたる学部・学科の研究内容や各職種との関連性を理解することは極めて重要です。

各々が興味・関心に合わせて、「スポーツ」「情報」「介護・福祉」「医療・リハビリ・看護」「心理」「経営・経済」「語学・国際」の分野に分かれて受講しました。

未来の自分を想像し、進むべき道筋を真剣に考える時期になりました。